

令和2年度 事業報告書・収支決算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

令和2年度事業活動報告

I 事業の概要

令和元年度末からのコロナウィルス感染拡大について、今なお、収束が見通せない状況が続いている。当地域における観光業も甚大な影響を受けるなか、地域連携 DMO として、浜松・浜名湖地域の関係事業者や行政との連携をさらに深化させつつ、公益目的事業の3本柱である、「公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業」「公2 コンベンションを中心とした MICE 支援事業」「公3 公共施設管理運営事業」において、「新しい日常」への変化に機敏に対応し、コロナ収束後を見据えた取組を積極的に展開してきた。

「公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業」については、8つの基本戦略のもと、浜名湖観光圏整備推進事業をはじめ、従前からの観光地域づくりやコロナウィルス対策事業を展開した。

主なものとしては、コロナ禍の巣ごもり需要の増加に伴い、当地域の観光情報の発信における新たな取り組みとして MEO (Map Engine Optimization) を実施。来訪者の情報検索における Google マップのニーズに対して、当地域の最適な観光情報が閲覧できるような情報管理のデジタル化を進めた。

また、コロナ禍により来訪を促す積極的なプロモーションが出来ないため、当地域の特産品をオンラインや紙媒体のカタログ通販を通じて拡販する事業も開始。クレディセゾンのオンライン通販への商品掲載や、東海地区に2,248局展開する郵便局に設置される地域特産品カタログの「浜松・浜名湖よくばり三昧」を制作し、令和3年度より販売されている。

また、インナープロモーションとして、小中学生をはじめ地域の皆様のシビックプライド（地域への愛情や誇り）の醸成に取り組み、海の湖教科書「魚介編」「お祭り編」「野菜、果物編」の3種類を浜松市及び湖西市の小学校5、6年生の525クラスに1冊ずつ配布するほか、市内書店での販売も行った。3月には「花・木編」も完成。

コロナ禍において特に影響の強かった宿泊事業者向けのリカバリー事業として、国内のワーケーションニーズの高まりに対し、浜名湖周辺の宿泊施設と連携した「ロングステイ HAMANAKO」の事業を策定し、国内の都市圏を中心とした健康経営を推進する企業に対する長期の企業研修や滞在促進の準備を進めてきた。

静岡県との共催事業として、顔認証決済サービス実証事業を館山寺温泉と弁天島周辺の宿泊施設や飲食店の15施設で3月12日より開始し、with コロナ時代の非接触型決済サービスの先進地域としてPRを行ってきた。

次に、「公2 コンベンションを中心とした MICE 支援事業」については、浜松・浜名湖の地理的優位性や県内随一を誇る宿泊キャパシティなどの強みとコンベンション開催支援制度の魅力を活かし、地元の大学病院、大学、首都圏に本部を置く学会、協会本部等を対象とした開催誘致セールスを DM 及びメールを活用し非訪問により展開した。

上半期におけるコンベンションを含む MICE については、全国的に中止・延期を余儀なくされ、コロナ禍での会議はオンラインが主流となった。コロナ終息後は、オンラインと、感染症対策をしたうえで従来型の会議を同時に行う、ハイブリッド型の会議がコンベンションの新たなスタイルとして定着していくものと思われる。

今後は、人と人が触れ合うコミュニケーションの場の必要性とともに、浜松・浜名湖地域ならではのリアルな体験・魅力をさらに発信し、当地域で開催することの価値を伝えながら、スタイルの変容に対応した誘致を積極的に進めていく。

次に、「公3 公共施設管理運営事業」については、JR 浜松駅構内にある浜松市観光インフォメーションセンターを英語対応が常時可能な施設（JNTO カテゴリー2 認定）として運営し、コロナ収束後の海外からのお客様の満足度向上にも寄与するため、人材の確保と育成に取り組んでいる。

このように、これまでの継続した連携の積み重ねは勿論、コロナ禍における新たな取り組みなど新たな協力、連携体制のもと、地域連携 DMO に期待される「舵取り役」の役目を引き続きしっかりと果たしていく。

Ⅱ 公益目的事業活動報告

公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業

浜松市、湖西市及び周辺地域の産業、文化、歴史などの資源を活用し、行政、観光施設、民間団体・企業等との連携を図り、地域のブランド確立を目指して、調査、分析に基づく戦略策定と、戦略に基づく効果的・効率的な情報発信を推進するとともに、観光客の誘致及び受入により交流人口の拡大を図り、観光まちづくりの推進と地域社会の健全な発展を目的とする。

1 観光地域づくり戦略策定・管理事業

(1) 観光地域づくり戦略計画（3カ年計画）に基づく事業の実施、管理

- ・観光圏満足度調査のアンケート結果や、外部・内部環境分析から4つの戦略骨子（積極化戦略、差別化戦略、改善戦略、防衛戦略）を策定。戦略骨子に基づき、8つの基本戦略と具体的な事業を決定し推進してきた。また、期中で予算の付け替えを行いwithコロナ事業として新たな取組みを推進した。

【8つの基本戦略に基づく事業】

- ① 効果的な情報発信の整備
 - ・公式HP「浜松・浜名湖だいすきネット」の運営管理
 - ・海の湖HAMANA ジェンヌによる情報発信
 - ・HAMANA ジェンヌ公式YouTubeチャンネルによる地域情報の動画発信
 - ・公式Facebook、Instagram、Twitterによる情報発信
 - ・海の湖スゴイもの50撰ポスターと海の湖教科書の作成と販売
 - ・浜名湖わんこ旅公式WEBサイトの立ち上げ
 - ・主要観光施設のME0の整備（45施設）
 - ・浜松浜名湖の食の動画制作（魚介編、野菜編）
 - ・熊谷真実さん公式YouTube動画制作支援
- ② 顧客の囲い込み策の構築
 - ・ワーケーション事業「ロングステイHAMANAKO」準備（説明会、WEBサイト）
 - ・顔認証決済サービス実証事業
- ③ 観光商品の開発と誘客促進
 - ・着地型旅行商品販売サイト「ちよい旅」への掲載商品の拡充
 - ・サイクリングの天竜モデルコースの策定と情報発信
 - ・国内7地域のサイクリング企画「サイクルボール」への参画

- ・郵便局物販カタログのへの特産品と体験商品の掲載準備
- ・バイズオカへの体験商品の掲載に向けた企業連携
- ・テクニカルビジット事業に向けた企業連携
- ・ナショナルサイクルルート認定に向けた環境整備
- ・ガーデンツーリズムのインフルエンサーマーケティング
- ・山梨県と長野県への教育旅行誘致営業

④ サービスの品質向上

- ・おもてなし規格認証「金」認証の取得促進
- ・宿泊施設向け品質認証「サクラクオリティ」の普及
- ・ガイドサイクリスト育成事業

⑤ 広域周遊施策の推進

- ・アメイジングガーデン浜名湖と連携した花の集印帳事業
- ・ヤマハのレンタルバイクを活用したバイクツーリズムの促進
- ・浜名湖わんこ旅のスタンプラリー企画の推進
- ・三遠南信（東三河と南信州）との広域連携の推進

⑥ インバウンド受入環境整備

- ・香港 LCC の香港エクスプレスと連携した体験商品造成
- ・在日オーストラリア、ニュージーランド人のモニターツアー
- ・欧米豪および台湾市場向けの着地型旅行商品造成、Web メディアへの掲載
- ・多言語観光情報サイトの構築

⑦ 観光インフラの整備促進

- ・杏林堂と連携した湖西連峰、奥浜名湖、天竜のトレイルルート造成
- ・浜名湖舟運可能性調査実証実験のモデルコース策定

⑧ 地域との協働

- ・静岡文化芸術大学の地域連携演習の地域連携プログラムの造成
- ・浜松学院大学の社会人向けイノベータープログラム支援
- ・都田川河川敷の清掃活動

2 観光地域づくり推進事業

(1) 浜名湖観光圏整備推進事業の運営管理

- ① 観光地域づくりマネージャー会議の開催
現状の事業進捗の報告と観光地域づくり、マネージャーの役割について改めて考え、課題の共有を行った。
 - ・開催：3回（7/17、9/24、2/25）
- ② 浜名湖観光圏戦略会議の開催
浜名湖観光圏構成員の責任者、観光地域づくりマネージャー等で構成する戦略会議を開催。観光圏事業全体の進捗確認、コロナ禍における事業計画の変更などを行った。
 - ・開催：1回（9/30）
- ③ 浜名湖観光圏総会書面決議の開催
 - ・第1回開催日：7/30付
 - 内容：令和元年度事業報告及び収支決算報告、令和2年度事業計画の変更（案）及び収支予算（案）について
- ④ 全国観光圏推進協議会へのオンライン参加
全国13観光圏の担当者が会しての活動状況報告、観光庁他国の関係機関などによる観光施策に関する最新動向の提供、全国観光圏共同で実施する事業の調整などを行っている。
 - ・観光圏推進協議会（会議）への出席
開催：6回（7/14、9/15、11/10、12/15、1/12、3/9）
 - ・人材育成研修、観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修への参加（6名）

(2) 観光地域づくりプラットフォームの確立

- ① 各観光協会、観光事業者等との事業等のマッチング、すり合わせの実施
 - ・浜名湖花フェスタ2020実行委員会への参画
 - ・浜名湖一周サイクリングイベントにおける観光協会とのおもてなし連携
 - ・西部地域（袋井市、森町、掛川市）とのガーデンツーリズムの推進
 - ・浜名湖周辺の宿泊施設と連携したワーケーション事業の推進
 - ・浜松・浜名湖観光地域づくり協議会の農泊事業との連携
 - ・南信州と東三河との相互PRと誘客による三遠南信連携
 - ・静岡県との顔認証決済サービス実証事業の推進
- ② 民間事業者との連携事業の検討
 - ・クレディセゾンの通販サイト「ストーリーセゾン」への商品掲載
 - ・郵便局物販サービスとの浜松・浜名湖よくばり三昧のカタログ作成
 - ・地域内のペット同伴可施設とのデジタルスタンプラリーの推進

- ・主要観光施設を対象とした MEO 整備のための連携
- ・企業視察研修テクニカルビジットの推進
- ・浜松パワーフード学会と食農プロジェクトと連携した食の PR 動画作成
- ・静岡文化芸術大学と浜松学院大学との学生向けプログラム支援
- ・バイシズオカへの掲載に向けた企業連携

3 地域の魅力創造事業

(1) 滞在プログラム造成事業

- ① 「海の湖」ブランド体感プログラム開発事業
 - ・マイクロツーリズムの一環としては、犬の保有率が高い当地域の特徴をいかした愛犬家向け体験商品紹介サイト「ワンダフル浜名湖わんこ旅」を推進
デジタルスタンプラリーを実施
 - ・健康経営優良法人等をターゲットに、長期滞在ワーケーションと当地域の食・アクティビティを連携された「ロングステイ HAMANAKO」を推進。ウェブサイト構築
 - ・レンタルバイクを活用した、当地域の周遊施策として、YSP 浜松と連携
浜名湖一周コース、竜をめぐるツーリングコースを紹介
 - ・杏林堂の市民ランニングチームと連携し、トレイルランコースの設定。試走会を実施
湖西連峰、天龍区秋葉山、奥浜名湖（細江、佐久米コース）
 - ・市内の 10 事業者のもと、テクニカルビジット（企業視察ツアー）の構築準備を実施
エネジン(株)本社にて CSR や職場改善をテーマにしたメディア向け視察会と通訳研修を実施
- ② 浜名湖サイクルツーリズム推進事業
サイクリストの受入態勢や商品の企画造成、広域連携によるサイクリングの魅力増幅・発信を行っている。
 - ・浜名湖サイクルツーリズム推進会議の開催： 8/28
 - ・WG 開催： 8/28、11/17、2/8
 - ・第 18 回目となるイベント「浜名湖サイクルツーリング」の開催準備
 - ・実行委員会の開催： 8/25、10/26
 - ・今年度はコロナ対策として浜名湖 1 周イベントは 3/20、21 の 2 日に分散し開催
 - ・応募人数 1,151 名（実走人数 623 名：1 日目 544 名、2 日目 79 名）
 - ・ナショナルサイクルルート認定に向けた関係者との連携
 - ・地域のサイクリストを巻き込んだガイドサイクリストの育成
- ③ 浜名湖舟運と SA ゲートウェイ開発推進事業

静岡県浜松土木事務所と連携した舟運可能性調査実証実験を実施。

- ・ターゲット別の浜名湖舟運のモデルコース 4 ルートの策定
- ・実証実験のモニターツアーの開催：10/23, 24
- ・メディアによる FAM ツアーの開催：10/23
- ・「舟で旅する浜名湖」特集ページの作成

④ フラワーツーリズム推進事業

7つの庭園で構成される国土交通省認定のガーデンツーリズム「アメイジングガーデン浜名湖」の取組として、推進会議の開催や共通入場券の販売を開始。

- ・ガーデンツーリズム推進会議視察会：6/12
- ・ガーデンツーリズム行政連絡会議：7/31
- ・ガーデンツーリズム推進会議：10/8
- ・浜名湖ガーデンツーリズム共通入場券 販売実績 48 件

また、今年度で6回目となる浜名湖花フェスタについて、回遊性向上について検討し、来訪者の拡大を図るため公式 HP や花の集印帳の販売を実施。

- ・花フェスタ実行委員会開催：9/14、3/12
- ・花の集印帳 販売実績：268 冊

販売期間：2020年2月1日～6月30日

⑤ 「浜松・浜名湖ちよい旅ガイド」の企画、催行

観光地域づくりブランド戦略に基づく新たな滞在型プログラムの開発など、現地発着小旅行サイトである「浜松・浜名湖ちよい旅ガイド」の充実・強化

【令和2年4月1日～令和3年3月31日までの実績】

滞在プログラム数延べ	75 件 (昨年 46 件)
参加施設	54 施設 (昨年 22 施設)
送客実績	69 名 (昨年 95 名)

※コロナ感染拡大により4月～6月は催行休止

(2) 浜松まつり組織委員会及び同委員会広報宣伝部の管理運営（事務局）

① 浜松まつり組織委員会

- ・浜松まつり組織委員会総務部会

日 時 7月17日（金）14時～

会 場 こども館分室 ここいーらギャラリー2

議 題 総務部員の委嘱

役員選任

令和3年度浜松まつり参加申込・誓約書について

- ・浜松まつり組織委員会役員会

日 時 8月28日（金）9時～

会 場 浜松市役所本館5階 庁議室

議 題 代表委員長の選任

総務部員の承認

統監部員の追加承認

令和3年度浜松まつり参加申込・誓約書について

・浜松まつり組織委員会総務部会

日 時 11月26日(木)10時～

会 場 こども館分室 ここいーらギャラリー3

議 題 令和3年度浜松まつり参加希望町について
令和3年度浜松まつりワッペンについて
令和3年度風落下対策負担金について
令和3年度風搬入用車両駐車場について

・浜松まつり組織委員会役員会

日 時 12月18日(金)11時～

会 場 浜松市役所本館5階 庁議室

議 題 令和3年度浜松まつり参加希望町について
令和3年度浜松まつりの日程について
令和3年度浜松まつり交通規制について
令和3年度ポスターデザインについて
企画統制監理部員の追加推薦について

・浜松まつり組織委員会役員会

日 時 1月22日(金)13時～

会 場 浜松市役所本館5階 庁議室

議 題 令和3年度浜松まつりについて

・浜松まつり組織委員会総務部会

日 時 3月4日(木)10時30分～

会 場 可美公園総合センター 第2研修室

議 題 令和3年度浜松まつり高校生参加について

・浜松まつり組織委員会総務部会

日 時 3月24日(水)14時～

会 場 こども館分室 ここいーらギャラリー3

議 題 令和2年度浜松まつり組織委員会収支決算見込について
令和3年度浜松まつり事業計画案について
令和3年度浜松まつり組織委員会収支予算案について

② 浜松まつり組織委員会広報宣伝部

・第1回浜松まつり組織委員会広報宣伝部役員会

日 時 10月26日(月)14時～

会 場 こども館分室 ここいーら小会議室2

議 題 役員の選任

令和2年度浜松まつり事業報告

(3) はままつ都市型レンタサイクル推進協議会（事務局）

「はままつ魅力発信館 THE GATE HAMAMATSU」内で民間事業者により運営されている「はままつペダル」へ自転車の無償貸与を実施。

3月末の「THE GATE HAMAMATSU」閉鎖に伴い、レンタサイクルの機能継続を条件に自転車の返却及び譲渡を行い、協議会を解散した。

- ・都市型レンタサイクル推進協議会

日時：令和3年3月29日

場所：浜松市役所 本庁8階 第3委員会室

議事：「はままつペダル」事業終了に伴う自転車の取り扱いについて

はままつ都市型レンタサイクル推進協議会の解散について

(4) 地域特産品販路開拓支援事業（事務局）

浜松・浜名湖地域が全国に誇る特産品や観光振興につながる商品をまとめたカタログギフトの作成、販売を行うことで、観光誘客につなげる。

① 浜松・浜名湖物産振興協議会の運営

- ・浜松市及び特産品事業者からなる「浜松市物産振興協議会」の事務局として、カタログギフトの作成及び連絡調整
- ・具体的な業務としては、カタログ掲載事業者との契約／商品の受注連絡／発送確認／代金支払い／販売委託先との契約／納品／販売数管理／カタログ、注文ハガキ等の作成／PRチラシ、ポスターの作成／HPの作成など
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により影響を受ける地場産品の生産事業者及び販売事業者を支援するため浜松市と協力し、楽天市場でのオンライン物産展を開催

【カタログギフト事業概要】

商品掲載事業者：35事業所

掲載商品数：65商品

販売金額：5,500円（税込）

販売期間：令和2年4月～令和3年1月末日まで

販売窓口：ビューロー事務所、共栄商会、ザゲートハママツ

海老仙、谷島屋（浜松本店、パルシェ店）

新居町商工会、湖西市商工会

※特設サイトから申込用紙をダウンロードして購入することも可。（チラシ、ポスターのQRコードからもアクセス可）

販売手数料：物産振興協議会1割、販売委託先1割

カタログギフトの販売実績： 807 冊 （前年比 182%）

【楽天Web物産展】

区分	期間	商品数	注文数	売上
第1回	6/25～7/29	695	21,455 件	101,899,538 円
第2回	9/1～10/6	878	18,124 件	93,814,533 円
第3回	11/10～12/14	1,018	22,339 件	120,267,545 円
第4回	1/20～2/25	1,162	21,117 件	114,208,540 円
計			83,035 件	430,190,156 円

4 観光プロモーション事業

(1) 観光案内ウェブサイト管理運営

ア 浜松・浜名湖地域の観光情報サイト「浜松・浜名湖だいすきネット」の管理運営

訪問数 695,993 （前年比 77%）

ページビュー数 1,536,024 （前年比 74%）

ユニークユーザー数 582,808 （前年比 71%）

イ 編集部 Pick Up!の定期的な記事更新

コンテンツの充実を図るため月2回程度の更新（合計18記事）

ウ SNS（Facebook、Instagram、Twitter、YouTube）での情報発信

・Facebook フォロワー数 2,943 件（前年比 127%）

・Instagram フォロワー数 1,707 件（前年比 237%）

・Twitter フォロワー数 1,331 件（前年比 194%）

・YouTube でおすすめのスポット・商品を伝える番組「ジェンヌちゃんねる」
（月2回程度の配信）

35本制作

チャンネル登録者数 379 人（2021.3月末現在）

総再生時間 1,054 時間（2021.3月末現在）

エ ランディングページの制作

・春一番キャンペーンページの制作

・visit 浜名湖フォトコンテスト2020ページの制作

・ワンダフル浜名湖わんこ旅ページの制作

・舟で旅する浜名湖ページの制作

(2) 国内セールスプロモーション事業

① 浜名湖観光圏整備推進事業

・埼玉新聞6月26日 静岡観光特集掲載

- ・刈谷ハイウェイオアシスパンフレット配架（11月）
- ② 東京、大阪、名古屋等でのプロモーション
 - ・ふじのくに大商談会 in 東京(リモート)
 - 開催日：令和2年10月14日（水）
 - 場 所：静岡ツインメッセ
 - 商談旅行会社 10社
 - ・ふじのくに大商談会 in 名古屋・大阪（リモート）
 - 開催日：令和2年10月27日（火）
 - 場 所：静岡ツインメッセ
 - 商談旅行会社 8社
 - ・ツーリズム EXPO ジャパン 2020
 - 開催日：令和2年10月29日（木）～11月1日（日）
 - 場 所：沖縄コンベンションセンター
 - 旅行会社との商談 8社
- ③ デステイネーションキャンペーン推進部会西部地域部会の運営
 - 令和2年度で廃止 令和3年度から「静岡県大型観光キャンペーン推進協議会事業推進部会西部地域会議」を設置
- ④ 各種媒体への広告掲載
 - ・雑誌 …JTB TRAVEL&LIFE、旅行読売(サイクリング、アメイジングガーデン)
 - ・WEB …日刊ゲンダイ DIGITAL、You Tube (たきや漁、伸東養魚、ギョギョ市)
 - ・TV …NHK、民放各局、静岡放送、第一テレビ、CBCテレビ (浜名湖わんこ旅)
 - ・新聞 …静岡新聞、中日新聞、観光経済新聞、日刊スポーツ、日刊ゲンダイ、東京中日スポーツ
(海の湖教科書・浜名湖わんこ旅・たきや漁・ギョギョ市・フライボード・うなぎの刺身・うなぎのつかみ取り等海の湖体験商品、カタログギフト等)

(3) 海外インバウンド事業

- ① インバウンド推進事業
 - ・日本の観光物産博 2020 オンライン開催 資材提供のみ
 - 開催日：令和2年11月7日（土）～8日（日）
 - 場 所：台北駅
- ② 県内連携事業
 - ・富士山静岡空港利用促進協議会
 - 令和2年6月12日(金) 第1回就航促進・利用拡大委員会
(静岡商工会議所) ※総会は書面決議

- ・静岡県との連携事業
 - 令和2年7月28日（火）～29日（水）
 - 山梨県で教育旅行誘致セミナーを開催（北杜市、甲府市）
 - 伊豆、三保、掛川、浜松の4地域合同 プレゼン&商談会
 - 令和2年12月17日（木）～18日（金）
 - 長野県松本市と山梨県甲府市の2会場で教育旅行誘致セミナー開催
 - 伊豆、三保、掛川、浜松の4地域合同 プレゼン&商談会
- ・教育旅行誘致事業
 - 山梨県からの教育旅行誘致説明会 7/28-29 北杜市、甲府市
 - 長野県・山梨県の教育旅行誘致説明会 12/17-18 松本市、甲府市
 - 静岡県内教育旅行誘致を推進する4地域から教育旅行セミナーを開催。
 - 成果 山梨県からの修学旅行は14校 684名宿泊
 - 静岡県 56校 4,246名、全体では75校 5,610名
 - 宿泊する学校にはウェルカムギフトを贈呈
- ③ 広域連携事業
 - ・三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会
 - 世話人会・幹事会（令和2年6月11日（木））
 - ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会
 - WGへの参加（令和2年7月16日（木））
 - 総会（書面総会）
 - ・名古屋観光コンベンションビューローとの連携
 - 2地区でオンラインベトナム商談会と現地での観光セミナー開催
 - セミナー1/20 ホーチミンにて 1/21-22 ベトナム商談会
 - 2日間で10社の商談を行う

5 その他観光振興に関する事業

(1) 各委員会への参画

- ① バイクのふるさと浜松実行委員会
- ② 浜松市文化振興財団理事会
- ③ 浜松国際ピアノコンクール実行委員会
- ④ 浜名湖地域舟運都市構想研究会
- ⑤ 浜名湖アートクラフトフェア実行委員会
- ⑥ 静岡国際オペラコンクール推進委員会
- ⑦ 浜松市花みどり振興財団理事会
- ⑧ 浜松21世紀都市交通会議
- ⑨ 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会西部地域検討部会
- ⑩ ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会

- ⑪ 浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進協議会
- ⑫ 浜松・浜名湖物産振興協議会
- ⑬ 浜松交通圏タクシー準特定地域協議会
- ⑭ 浜松市ユニバーサルデザイン審議会
- ⑮ 富士山静岡空港利用促進協議会
- ⑯ 富士山静岡空港利用促進協議会就航促進・利用拡大委員会
- ⑰ 中部の観光を考える百人委員会
- ⑱ 三遠南信・伊勢志摩広域観光連携協議会
- ⑲ 昇竜道連絡調整会議
- ⑳ 浜松地域の産業観光を推進する会
- ㉑ 出世の街浜松 家康公祭り実行委員会
- ㉒ はままつ都市型レンタサイクル推進協議会
- ㉓ ミナトリング実行委員会
- ㉔ 浜松吹奏楽大会 2021 実行委員会
- ㉕ 浜松市スマート I C 地区協議会
- ㉖ はままつフラワーパーク 50 周年実行委員会
- ㉗ はままつ響きの創造プロジェクト実行委員会
- ㉘ ビーチ・マリンスポーツ推進協議会
- ㉙ ラグビーワールドカップ 2019 大会及び村パワ大会に向けた浜松・浜名湖誘客実行委員会
- ㉚ 浜名湖キューバヘミングウェイカップ大会役員会
- ㉛ 浜名湖キューバヘミングウェイカップ大会実行委員会
- ㉜ 新居弁天地区の観光構想に係る勉強会
- ㉝ 湖西市観光振興協議会
- ㉞ 湖西市観光基本計画策定委員会
- ㉟ 浜松市中小企業振興会議
- ㊱ 浜名湖地域振興・減災協議会
- ㊲ ブラジルホストタウン推進浜松市民会議
- ㊳ 浜松創造都市推進会議
- ㊴ 浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム運営委員会
- ㊵ 静岡県立美術館第三者評価委員会
- ㊶ 浜松歴史的風致維持向上委員会
- ㊷ 浜松文化財活用計画検討会
- ㊸ 歴史資源を活用した誘客・周遊促進事業推進協議会
- ㊹ 第 19 回 WRO Japan 決勝大会 in 浜松実行委員会
- ㊺ 浜松商工会議所 観光サービス部会
- ㊻ 浜松ホテル旅館協同組合
- ㊼ 海と日本プロジェクト in 浜名湖実行委員会
- ㊽ 浜松地域コンベンション誘致対策協議会
- ㊾ 浜名湖サイクルツーリズム災害連携社会実験協議会

公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業

コンベンションを中心としたMICEの誘致及び主催者への支援を実施することで、本地域への交流人口の拡大を図り、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

1 コンベンション誘致事業

(1) 首都圏・名古屋・静岡等への誘致活動

上半期での訪問誘致営業活動は自粛。下半期より情報収集を目的に主催者、関係団体を訪問。前年度128件に対して令和2年度は22件にとどまった。

(2) 市内及び周辺地域の大学、団体等への定期的な訪問活動

浜松医科大学、静岡大学、静岡文化芸術大学、光産業創成大学院大学、聖隷福祉事業団、浜松医療センターなどアポイント訪問に限り実施。

前年度54件に対して令和2年度は29件にとどまった。

(3) 誘致資料の作成と広報

- ・6月 市内の大学・医療機関にコンベンション開催支援案内とMICE資料配布
- ・6月 過去に開催実績のある事務局と商談団体等へのDM発送等(242件)
- ・7月 大中規模コンベンション主催団体へのDM発送等(236件)
- ・9月-11月 機械振興会館にて浜松MICE・観光情報ブースを設置展示
- ・1月 日本工学会年報への広告掲載と会員97団体へのDM発送
- ・1月 市内の大学・医療機関にコンベンション開催支援案内とMICE資料配布

(4) コンベンション運営会社との連携

オンライン並びにハイブリッド開催等の開催運営方法について情報収集提供

(5) 浜松地域コンベンション誘致対策協議会の運営

3月17日 令和2年度浜松地域コンベンション誘致対策協議会の開催
年間事業報告及び意見・情報交換
ゲストスピーチ「JTBにおける今後の商品造成(宿泊戦略)について」

(6) JNTO、JCCB、関係団体が開催する商談会、展示会等への参加

① 商談会・展示会等への参加

●ナゴヤMICEショーケース

開催日 1月28日

形態 事前登録によるオンライン商談会

商談数 4件

参加者 バイヤー29団体、セラー34団体

●第30回国際MICEエキスポ(IME2021)

開催日 2月24日～26日

形態 事前登録によるオンライン商談会

商談数 6件

参加者 バイヤー登録167名(国内123名、海外44名)

●第8回イベント総合EXPO

開催日 2月24日～26日

形態 幕張メッセにて展示会出展、ヴァーチャル展示商談会併催

案内数 約400件

参加者 第8回ライブ・エンターテインメントEXPO、第4回Japan Sports Week、
第4回自治体・公共Weekが併催され、3日間で13,134名来場

② 会議、協議会、セミナー等への参加

6月11日 JCMA(日本コンベンション協会)第4期社員総会(WEB)

6月15日 JCCB(日本・コンgresコンベンションビューロー)通常総会(WEB)

6月30日 新型コロナウイルス対応ガイドライン説明会(JCCB主催/WEB)

7月・12月 JCCBコンベンションビューロー部会(開催中止)

7月22日 With・コロナ時代のMICEを考える(名古屋観光CB主催/WEB)

8月26日 2020年度第1回JCCB産業部会MICEセミナー(JCCB主催/WEB)

9月 中部コンベンション連絡協議会(開催中止)

10月15日 人材育成委員会 2020年度第1回勉強会(JCMA主催/WEB)

「コンベンション次の常識」

10月22日 2020年度第1回JCCB産業部会MICEセミナー(JCCB主催/WEB)

11月20日 MICE・観光振興講演会(徳島県観光協会主催/WEB)

11月24日 令和2年度静岡県コンベンション推進協議会(静岡県主催)

11月30日 With/Post コロナ時代のMICEを考える(観光庁主催/WEB)

12月3日 第2回PPP手法を活用した

MICE戦略推進セミナー(観光庁主催/WEB)

12月4日 JCCB特別企画セミナー(JCCB主催/WEB)

「Withコロナ時代におけるMICEのあり方を探る」

1月18日 2020年度第2回JCCB産業部会MICEセミナー(JCCB主催/WEB)

1月21日 第3回PPP手法を活用した

MICE戦略推進セミナー(観光庁主催/WEB)

2月8日 2020年度下期JCCB人材育成研修会(JCCB主催/WEB)

「海外コアPCOの国際会議運営に関する取り組みを学ぶ」

2月12日 特別講演会&海外レポート JCMA主催/WEB)

「With/Post コロナの未来社会とMICEを考える」

(7) 他都市・関係企業との連携活動

- 5月28日 静岡県コンベンションビューロー担当者会議(WEB)
- 10月1日～2日 徳島県観光協会との連携会議兼会場視察
- 2月10日 第14回4都市連携会議(長野市・福井県・鳥取県/WEB)

(8) コンベンション開催助成金制度検討

- ① 事前現地視察等調査助成金の運用開始
 - ・次期開催地を検討する主催者を対象に、市内会場の視察に関わる経費を助成する制度として4月1日運用開始。
実績2件、助成金額96,180円
2021年9月工学系国際会議4日間180名規模 開催決定
2022年3月工学系全国会議5日間1,300名規模 開催決定
- ② 令和2年度新型コロナウイルス感染症予防対策助成金の策定と運用
 - ・現地開催の支援と参加者に対して予防対策を目的に、感染症予防に必要な経費(レンタル費)の一部助成する制度として9月1日運用開始。
実績3件、金額525,000円、開催期間9日間、現地参加人数1,568名

2 コンベンション主催者への支援事業

(1) コンベンション開催支援の実施

- ① 令和2年度コンベンション開催助成金の交付
 - 交付5件、中止届17件、辞退届15件
 - ・国際会議助成金 0件(申請3件)
 - ・国内会議宿泊助成金 5件1,216,500円(申請34件)
〈アトラクション助成金 0件(申請11件)〉
- ② コンベンション歓迎案内、イベント案内、感染予防啓発等掲示 19件
- ③ コンベンションカレンダー・ポスターの掲出 1件
- ④ コンベンション・イベントの後援 申請23件
(実施9件、WEB開催3件、誌面開催1件、中止10件)
- ⑤ 視察受入・アテンド
 - 4月 令和2年7月開催予定 医学系全国会議(視察中止)
 - 8月 令和4年3月開催予定 工学系国際会議(視察延期)
 - 9月 令和3年9月開催予定 工学系国際会議 /実行委員会10名
 - 10月 令和4年3月開催予定 工学系全国会議 /実行委員会4名
 - 11月 令和3年度10月開催予定 教育系全国会議 /実行委員会16名
- ⑥ その他各種支援
 - ・主催者への中止や延期に関わる会場調整(予約変更、キャンセル手続き)
 - ・公的機関、関係団体の感染拡大予防ガイドライン周知説明

- ・市内主要施設へのオンライン配信環境整備依頼と情報提供
- ・PCOへのハイブリッド開催に必要な情報収集提供
- ・ハイブリッド開催の現地会場視察とオンライン開催聴講
- ・3月 言語処理学会年次大会/前年大会視察

●令和2年度 開催MICE支援数（種別ごと）

種別	助成金	歓迎看板	資料提供	会場手配	後援名義	支援合計
会議・大会	5	2	2	2	1	12
展示会	0	0	0	0	0	0
イベント	0	0	0	0	4	4
スポーツ	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	3	3
合計	5	2	2	2	9	20

※開催支援申請を受理し、支援を実施した合計は94件だったが、開催に至ったのは20件にとどまった。

●令和2年度に支援実施したMICE事業件数（種別ごと）

種別	国際	全国	ブロック	県内	合計
会議・大会	0	6	0	0	6
展示会	0	0	0	0	0
イベント	0	1	0	3	4
スポーツ	0	1	0	0	1
その他	0	0	1	2	3
合計	0	8	1	5	14

※当初70件の支援申請を受理したが、延期・中止が相次ぎ現地開催は14件にとどまった。

⑦ 令和3年度浜松コンベンション開催助成金申請状況

- ・8月27日 令和3年度国際会議助成金審査会
国際会議3件2,257,000円、アトラクション1件100,000円
- ・3月18日 令和3年度浜松コンベンション開催助成金審査会
宿泊22件8,180,000円、アトラクション4件265,000円
国際会議（追加）1件369,000円

(2) コンベンション支援資料の作成と広報

① コンベンション支援資料の作成

- ・浜松市街地のグルメガイド「うまいもんマップ+plus」
従来の冊子型から非接触(カード)型のスマホ対応デジタル版(ゲーグルマップ機能搭載)にリニューアルして制作 50,000部
(掲載店舗79店舗、はままつ安全・安心な認証店舗情報とリンク)
- ・浜松・浜名湖イベント施設ガイドの作成 1,000部
- ・コンベンション支援制度紹介パンフレットの増刷 6,000部
- ・5年カレンダーの作成 3,000部
- ・コロナ感染症予防ノベルティ「抗菌マスクケース」の作成 2,000枚

② ホームページの更新

③ MICE専用ホームページの運用開始

会議・学会・大会等誘致支援に特化した、新たな入口(URL)を設定し各種情報発信機能を強化。

(追加した新規情報等)

- ・新型コロナウイルス感染症情報及び施設ガイドライン
- ・「スポーツ・文化イベント施設」、「会議・研修、合宿の宿」詳細リスト
- ・新設助成金制度
- ・JNTO発行「日本コンベンションガイド」改訂および訪日インセンティブ旅行支援策に関する情報提供

3 コンベンション関連情報の収集・分析事業

(1) 圏域内のコンベンション開催情報調査

浜松市内にて開催または開催予定のコンベンション情報の収集

(2) 主催者等へのコンベンション開催意向調査

- ・コンベンション開催主催者(事務局)に対し、コンベンション名、開催予定日、参加予定数、宿泊の有無等を確認する意向調査を実施
- ・(一社)日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)が実施する開催意向調査資料5,200件を精査し、DM、メール等によるセールスに活用

(3) 国際会議統計への情報提供

JNTOへの情報提供(2019年15件確定、2020年2件申請・6件未該当)

都市別の国際会議開催件数で、2019年は上位30都市リストに選出。

公3 公共施設管理運営事業

浜松市より受託している「浜松市観光インフォメーションセンター」において、来訪者に対し、観光、イベント、交通、飲食、宿泊等に関する各種情報を提供するとともに、市民団体(観光・通訳ボランティア)との連携による地域全体でのホスピタリティ溢れる対応により利用者の利便性の向上を図る事業を推進することで、地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする。上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月18日～5月17日の間、電話での案内対応業務のみとし、対面での案内業務を休止した。

1 浜松市観光インフォメーションセンターの管理運営

- ・観光、イベント、地域情報等の収集、案内
- ・パンフレット・チラシ等の収集、配置及び配布
- ・観光イベント等の最新情報の収集
- ・利用者にわかりやすい資料の作成、配布
- ・市内各観光案内所への情報提供
- ・パンフレット等の郵送請求への迅速な対応
- ・観光PRのための自主事業の実施
- ・浜松市土産品協会と連携し、特産品・土産品を展示
- ・観光ボランティアコーナーの設置
浜松ボランティアガイドの会及び通訳ボランティア HELP の会と連携
- ・Wi-Fi による情報提供

JNTO が認定する「外国人観光案内所」は立地・機能等により1～3の3つのカテゴリーにランク分けがされており、当観光案内所は、「カテゴリー2」(少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。)に認定されている。無料Wi-Fiを設置し、来訪者の利便性の向上に努めるとともに、インターネットによる英語・中国語・韓国語の観光情報の発信も行うなど、インバウンドの受入環境の整備にも力を入れている。

●観光インフォメーションセンター来場者数

	来場者数(人) ※()はR1実績			
	日本人		外国人	
4月	1,604	(9,405)	18	(407)
5月	1,055	(10,190)	6	(408)
6月	3,163	(7,501)	27	(245)
7月	3,254	(7,683)	33	(277)
8月	3,269	(9,564)	43	(248)
9月	3,950	(7,668)	32	(536)
10月	4,289	(7,662)	27	(914)
11月	4,009	(7,416)	33	(340)
12月	3,102	(7,140)	60	(256)
1月	2,290	(6,950)	30	(218)
2月	2,544	(6,133)	21	(133)
3月	3,788	(4,503)	34	(72)
合計	36,317	(91,815)	364	(4,054)

Ⅲ その他事業活動報告

他1 会員サービス事業

地域全体で観光・コンベンション等による来訪者へ満足度の高いおもてなしを実施するため、会員間における情報交換・共有を通してのスキルアップを図るとともに、当財団の活動に対する理解を得ることによる、当財団の基盤・組織力の強化を目的として、賛助会員を対象とした各種事業を行う。

1 会員への情報提供

(1) マーケティング調査結果等の観光関連資料の提供

- ・官公庁（観光庁、県、浜松市、湖西市など）、ビューローが実施する各種調査結果の提供。

(2) メールマガジンの配信（月1回）

- ・官公庁、ビューローからの情報提供
- ・会員から情報を募集しての各種情報提供

(3) 会員情報誌の発行（年数回）

- ・ビューローの事業報告や告知等に加え、浜松・浜名湖地域で奮闘している人や企業を特集する企画や、サービス向上促進のためのおもてなし規格認証の取得情報、キャッシュレス推進情報、その他各種お役立ち情報を掲載する。

【H a m a n a k o ふれす 第5号】

発行時期 8月

発行部数 1,000部

【H a m a n a k o ふれす 第6号】

発行時期 1月

発行部数 1,000部

2 観光関係優良従業員の表彰

今年度は実施見送り

3 情報交換会「賛助会員の集い（観光セミナー及び交流会）」の開催

令和3年2月16日(火)に実施予定で準備をしたものの、出欠状況及び国内の感染状況等に鑑み、十分な交流の機会を提供することは困難であると判断し中止とした。